

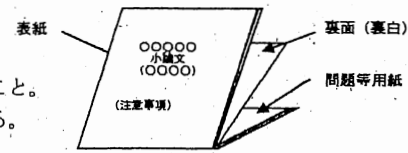
令和5年度徳島大学総合科学部入学試験問題

小論文

学校推薦型選抜 I (大学入学共通テストを課さない)

(注意事項)

- 1 問題用紙, 解答用紙および下書き用紙は, 監督者の指示があるまで開かないこと。
- 2 この表紙を除いて問題用紙は1枚, 解答用紙1枚及び下書き用紙は2枚である。
用紙の折り方は図のようになっているので注意すること。
- 3 解答は, 解答用紙の指定された解答箇所を書くこと。指定された解答欄以外に書いたものは採点しない。また, 裏面に解答したのも採点しない。
- 4 解答開始後, 解答用紙等の「受験番号」欄に受験番号をはっきりと記入すること。
- 5 下書き用紙を含め, 配付した用紙はすべて回収する。



令和5年度大学入試共通テストを課さない入試（学校推薦型選抜Ⅰ）

小論文 問題用紙

次の課題文を読んで、後の問いに答えなさい。

5階建てマンションで、エレベーターの改修費が議論となった。①普段エレベーターを使わない1階の住民は負担を拒んだが、5階の住民は均等割を主張した。多数決で決めることになり、過半数ではしこりが残るので5分の4が賛成する案に従うことになった。一見良さそうだったが、腹を立てた5階の住民の提案と、負担したくない他の住民の思惑が合致し、1階の住民だけが負担する案に5分の4が賛成したという。笑えない話だ。

②多数決の結果が常に正義とは限らない。多数派になった時こそ肝に銘じたい教訓だ。

（野村修也「紙つぶて 多数決のパラドックス」東京新聞・中日新聞2014年2月19日夕刊コラムより、一部省略）

問1：傍線①のような1階住民の主張と5階住民の主張について、それぞれの立場からの理由や根拠を考えて両者の主張のもっともな点とおかしな点を検討し、エレベーターの改修費用をどのように分担するのが最も妥当なのかについて考察しなさい。（600字以内）

問2：傍線②「多数決の結果が常に正義とは限らない」とあるが、多数決で物事を決めてはならない場合とはどのような場合なのかについて、課題文の事例を参考に考察し、そういう場合にはどのようにして決めなければならないかについて論じなさい。（100字以内）

